信 里 だ よ り

～信里地域バス運行委員会特集号～　　令和5年3月15日発行

◎ 今年度の「のぶさと号」の利用状況 について

信里では地域の公共交通として乗合タクシー「のぶさと号」とスクールバス「信里地域バス」が運行されています。

運行開始から12年目に入り「のぶさと号」の利用者が年々減少している現状です。4月～12月までの9ヵ月の利用者数を直近の4年間で比較すると、今年（令和4年）は令和元年のなんと約2割の減少になってしまいました。

このまま利用者の減少が続くと、便数の減や、さらには存続が危ぶまれる事態も想定されます!!

とても心配

＜現在の「のぶさと号」利用状況＞

年　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	1,002 人	873 人	846 人	810 人
元年度基準%	100 %	87.1 %	84.4 %	80.8 %

㊟ 最近の利用者数（4月から12月までの合計）の比較

そこで乗合タクシー「のぶさと号」についてもっと知っていただき、皆様の足として上手に利用していただけるようにご紹介させていただきます。

「のぶさと号」の利用は、信里地区全域に加え、篠ノ井柳沢地区、信更町宮平地区の方にもご利用してもらっています。

主なバス停や運行ルート・運行時刻等は年１回３月に全戸配布されている時刻表をご確認ください。

利用料金は２００円の定額料金（一部例外があります）で、さらにおでかけパスポートをお持ちの方なら１１０円での利用が可能です（一部例外があります）。

◎ 総務部会で「のぶさと号」に乗車してみました

総務部会（区長会）の令和４年度の取り組みとして、まず各区長さんに「のぶさと号」を利用してもらうことを計画し、１１月１１日（金）に篠ノ井交流センターで開催された篠ノ井区長会研修会への参加に７名の区長さんが往復で利用しました。

後日、参加した区長の皆様から感想をいただきましたので、次にいくつかご紹介します。

タクシー利用の感想

□研修会でのタクシー利用は大変よかった。利用した人の感想を「信里だより」または地域委員会でPRしたらよいのではないでしょうか。
□研修会では往復ともタクシーが時間前に着いて待っていたので楽に乗ることができた。運行経路上では多少の遠回りにはなるが、便利であった。次も機会があれば利用したい。
□利用に支障はなかったので時間の都合がつけば今後も利用したい。
□初めて利用しました。我が家は停留所が自宅前であるため誠に便利でした。目的地の篠ノ井交流センター前に停留所があるため利便がよいこと、料金も片道200円ととても安価であることなど、いい事ばかりでした。

とても気さくな運転手さんです。

篠ノ井地区区長会研修に参加の皆さん

◎「のぶさと号」の 利用方法 を知っていますか？

「信里タクシー」の利用方法（予約申し込み）
① まずタクシーの運行時刻を調べましょう。
② 利用する前日午後5時までに運行するアルピコタクシー（283－8800）へ電話で申し込みます。乗車を希望する便名と乗車する停留所名、利用者の名前と電話番号を伝えます。
③ 当日は乗車予定時刻までに停留所で待ちます。
④ 乗車したら料金の200円を前払いします。

とても簡単です！

◎ 信里以外の地域の公共交通はどうなっているの？

長野市交通政策課を訪問してお話を伺いました。長野市では、地域の皆さんの生活に必要な交通手段を確保するため、民間バス路線の空白地域になっている地域で、循環バス（ぐるりん号）、市バス、乗合タクシー及び事前予約制乗合タクシーを運行しています。詳しくは長野市のホームページ、長野市交通政策課をご覧下さい。

周辺の七二会地区、共和地区はどのような交通手段になっているのでしょうか。

共 和 地 区

乗合タクシー「篠ノ井共和線」が火曜日と金曜日の週２日定時運行されています。乗車定員９名のジャンボタクシーが川中島駅から厚生連篠ノ井病院までを行って折り返します。１日５便で、予約は不要で、時刻表に従って定時運行されています。（各停留所の決められた時刻に合わせて乗車・利用できます。）

【コース】　犀口～星のさと～Ａコープ篠ノ井店～篠ノ井駅～厚生連篠ノ井病院前

七 二 会 地 区

平成２９年４月から七二会の各地区と安茂里駅を結んで「新じんば号」が運行されています。予約は不要で、決められた時間に各停留所から乗車して利用できます。七二会地区は広いため、週２日ずつ３つのルートがあります。瀬脇から定期バス路線である国道１９号線を通っての安茂里駅へ行く場合に、路線バスのバス停では降車利用のみとなり、その帰りの便は乗車のみの利用で瀬脇からは乗り降りできます。

【１コース】　岩倉～市場～安茂里駅間（月・金曜日）
【２コース】　滝屋～平出～市場～安茂里駅（火・木曜日）
【３コース】　滝谷～新屋～市場～安茂里駅（水・土曜日）
（全コースが重なる市場～瀬脇～安茂里駅間は日曜日を除く毎日運航）

もう一つのお隣りの信更地区では乗合タクシー「すずらん号」は平日地区内を結ぶ６コースで運行されているようです。

長野市では地域住民の平日の生活の足を確保することが基本で、その上で地域の要望を受けて運行しているという説明でした。

◎ 利用者の皆様から寄せられたご要望

バス運行委員会では区長さんや利用者の方からご意見やご要望をいただいております。以下にご紹介します。

□家族が篠ノ井に行くときに利用させてもらっています。とても重宝しているので、ずっとこの制度が続くことを願っています。
□行き先が停留所に近いところは、運行時間が合う場合にとても便利だと思います。
□信里号の利用促進のためにはこの地域だけでは限界があると思います。篠ノ井

の他の地域から行楽や観光で信里地区へ来ていただくために活用できたらと思います。現在、観光スポットは茶臼山動物園ぐらいですが、今後建設されるワイナリー等、飲酒を伴う場合やリンゴの収穫体験等に活用できるといいと思います。

□土日・祝日の運行をお願いしたい。例えば、利用者の少ない水曜日の8，9便を止めてお医者さんが半日開く土曜日の午前中に篠ノ井へ行き、昼過ぎに帰る便も考えて欲しい。

□南長野運動公園まで行って欲しい。デリシア篠ノ井東店まで行って欲しい、など。

□免許証を返納した人、またこれから予定の人に補助金を出したらいいと思う。

□本数を少し増やしたらどうかと思います。

□現在の乗合タクシー、市営バスの運行時刻・本数は大変便利に設定されているので、この形で継続をお願いしたい。

□信里地区は予約制で週5日の運行となっています。これもこの形で継続して欲しい。

◎ これからの「のぶさと号」について

公共交通機関のない地区、特に長野市南西部や西部では長野市の運営する市バス、循環バス、乗合タクシーが地元の要望を受けて地域ごとに運行されています。

その中でも週5日運行する「のぶさと号」は行政の支援も手厚いと感じました。中山間地の交通として考えられた手段を上手に活用するために地域住民の協力に加えて行政の支援が重要と感じます。

たまたまタクシーを利用した折に、偶然同乗させていただいたお年寄りから話しかけられたことです。それは、**「信里のタクシーが廃止されたらマイカーを持たない私はどこへも行かれない。お医者さんへも行かれない。ぜひ、残して欲しい。」**という切実な思いでした。

皆様には身近な交通手段として日頃より気にかけていただき、もっとご利用をいただきたいと思います。皆様のご利用をお待ちしております。

地域の交通システム「のぶさと号」

信里に暮らすみんなの足　注目し

もっと、もっと　利用しましょう！

私たちのタクシー「のぶさと号」
（篠ノ井駅西口　停留所にて）